

Indonesia Weekly

2019年12月9日



(対象期間：2019/12/2～2019/12/6)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年12月6日)



【株式市場】

米中協議の楽観の見方から、新興国株式市場が堅調となる中で、インドネシア株式市場は上昇しました。また、2日に発表された、インドネシアの11月の消費者物価指数（前年同月比）が前回より鈍化したことも好感されました。前週に続き、海外投資家の資金流出が見られましたが、税制改革への期待などから大型株を中心に国内投資家からの買いが優勢となり、すべてのセクターが上昇しました。

2019/11/29	2019/12/6	変化率
6,011.83	6,186.87	+2.91%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年12月6日)



【債券市場】

週初は、通貨ルピアが下落したことや、世界的な債券利回り上昇を背景に、インドネシア10年国債利回りは上昇（価格は下落）基調となりました。引き続き海外投資家からの資金流入が見られましたが、国内投資家の利益確定売りに上値は抑えられました。週末にかけては、ルピアの上昇や海外投資家の堅調な資金流入を背景に、中期債を中心に利回りは低下し、週間ではほぼ変わらずとなりました。

2019/11/29	2019/12/6	変化幅
7.110	7.111	+0.001

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年12月6日)



【為替市場】

前週のリスク回避姿勢から一転し、米中協議の楽観の見方から、ルピアは堅調となり、対米ドルで上昇しました。6日に発表された11月の外貨準備高は、1,266億米ドルと前月比ほぼ変わらずとなりました。一方、対円では、米金利上昇や米中協議の楽観的な見通しにもかかわらず、円が対米ドルで強含みとなったため、ルピアは下落しました。

2019/11/29	2019/12/6	変化率
0.7759	0.7744	-0.19%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用するグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。